

## ・地域住民等を対象にした意見交換会の開催

### 1. 意見交換会について

- ・対象地域において現在のまちの現況、魅力（地域資源、地域の歴史など）や地域として抱える課題、西日暮里駅前の市街地再開発事業に期待することなどの地元の考えを把握するため、対象地域内における自治組織および商店街組織の代表を対象にヒアリング調査を行った。
- ・ヒアリングの対象者及びヒアリング日等について以下に示す。

番号	組織名	ヒアリング対象者	調査日
	西日暮里北部町会	町会長	H26.9.11
	ひぐらし文化会	町会長他 1 名	H26.9.16
	西日暮里五丁目町会	町会長	H26.9.16
	西日暮里三丁目町会	町会長	H26.9.16
	西日暮里駅前商店会	商店会長代理	H26.9.24
	サンマークシティ 日暮里商店会	商店会長他 1 名	H26.9.25
	冠新道商興会 道灌山通り商和会	商店会長 2 名	H26.9.25
	日暮里中央町会	町会長他 1 名	H26.9.25
	諏方神社宮総代	宮総代	H26.10.1
	日暮里中央商業会	商店会長	H26.10.1
	日暮里駅前商栄会	商店会長	H26.10.6

同時にヒアリング実施。

## 2. 地区の現況等

- ・自治組織および商店街組織の代表を対象にしたヒアリング調査によって確認された地区の現況等について以下に整理する。

### (1) 防災、防犯

#### ア. 地域として防災訓練、防災活動を実施

- ・東日本大震災以降の災害に対する意識向上等から、防災活動や防災訓練への住民の参加意欲が高まっている。

### (2) にぎわい・活気

#### ア. 商店街・商店街組織の衰退

- ・地区内の商店街については、チェーン店の出店やネットスーパーの台頭、駅を中心とする動線の変化、マンション建設等により、全体的に衰退傾向にあると思われる。
- ・商店街組織の役員の高齢化や後継者不足等により、商店街組織としての販促活動やイベント等の継続が難しくなっている。

### (3) 居住環境

#### ア. 日暮里台地における高齢化に伴う空き家の増加

- ・日暮里台地については古くから居住している住民が多く、高齢化が進行しており、将来的には空き家が増加することが懸念されている。

#### イ. 外国人居住者の増加

- ・対象地域においては外国人居住者が増加しており、それに伴い、ゴミ捨てなど地域のルールが守られず、居住環境低下の一因となっている。また、地域住民とのコミュニケーションがとりづらいため、地震等の有事の際の対応が懸念されている。

### (4) 景観・環境

#### ア. 駅前における公園・広場空間の不足

- ・西日暮里駅前を含む西日暮里五丁目地区については、広場空間がなく、コミュニティ活動や防災の拠点としてのオープンスペースが不足している。

#### イ. 日暮里台地における昔ながらの風景・情景

- ・日暮里台地においては寺社などを中心として戸建住宅が建ち、昔から変わらない風景・情景が広がっている。

(5) コミュニティ

ア. 下町らしいコミュニティが息づく

- ・対象地域においては古くから居住している住民が多く、お互いの顔を認識し合う下町らしい人間関係が構築されている。

イ. 日暮里駅周辺と西日暮里駅周辺の連携

- ・複数の鉄道や幹線道路により地区が分断されており、日暮里駅周辺と西日暮里駅周辺の連携が取れていない。
- ・また、日暮里駅・西日暮里駅間をつなぐルートにっぼりについては、商業施設等にぎわい機能が少なく、歩行空間としての魅力に乏しいことが問題となっている。

ウ. 西日暮里駅東西の地域の交流

- ・高架の線路及び台地による分断が要因となり、西日暮里駅東西の地域の行き来・交流がしにくい状況がある。

3. 再開発検討地区に関する意見

- ・自治組織および商店街組織の代表を対象に行ったヒアリング調査における再開発検討地区に期待することについて以下に整理する。

(1) 再開発地区に期待すること

ア. 子育て支援や高齢者サービス等の機能の継承

- ・現在の再開発検討地区には高齢者サービス機能や子育て支援機能が存在しており、従後も区民がこれらの公益サービスを受けられることが求められている。

イ. 駅前としてホール等の交流拠点の整備

- ・交通結節点としての西日暮里駅前に、ホール等の区民が利用しやすい交流拠点が求められている。交流拠点の整備により、多くの来街者が見込まれ、地区全体としてのにぎわいが創出されることも期待されている。

ウ. 区民が憩える広場空間の整備

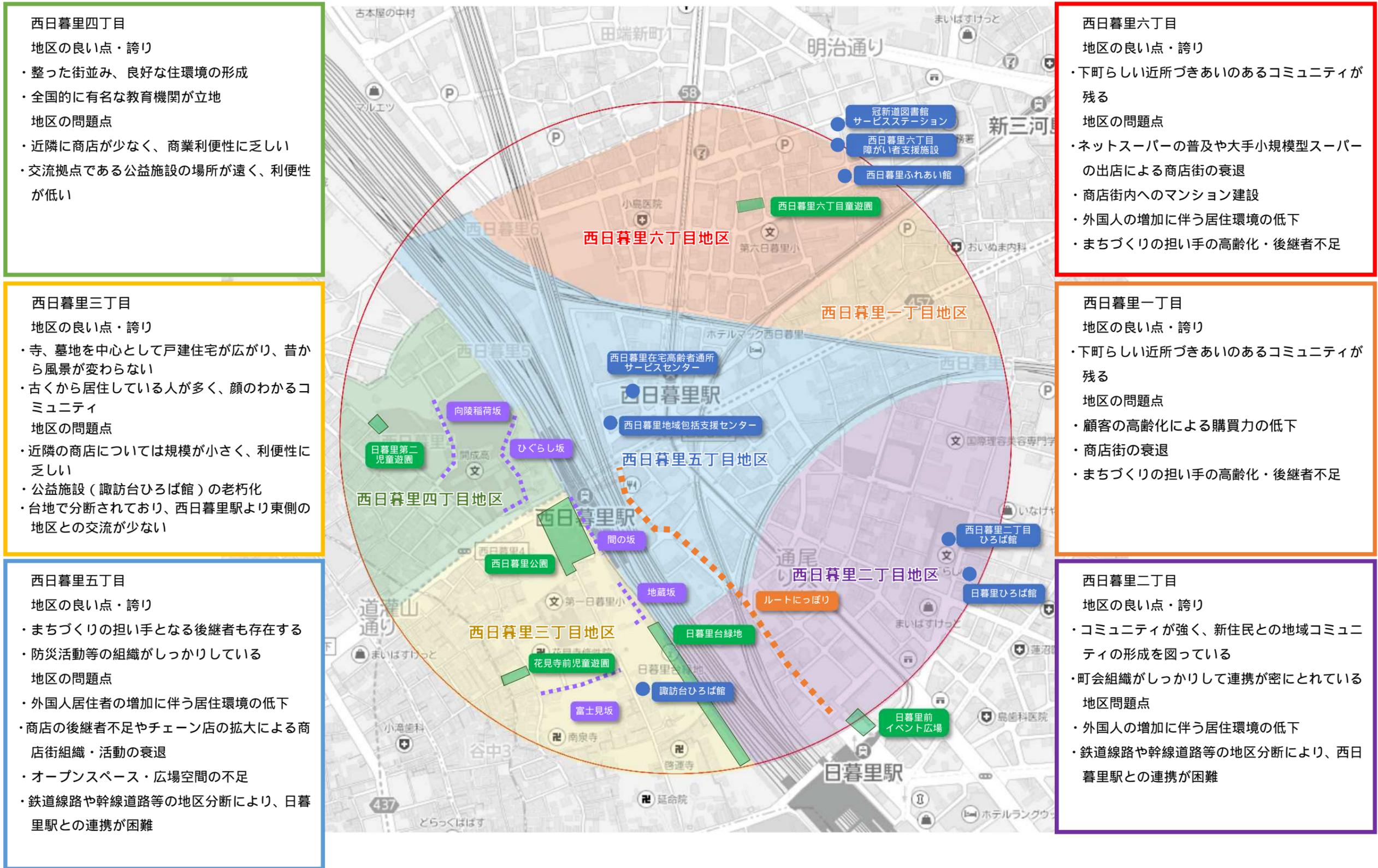
- ・日暮里台地を除く西日暮里駅前東側においては広場空間が不足しており、防災性の向上や地域の交流促進等を目的とした一定規模のオープンスペース・広場空間の整備が求められている。

エ．生活利便性向上のための生活利便施設の整備

- ・現在の駅前地区においては、飲食系店舗が中心となって存在しており、日常的に区民が利用するような食料品や日用品が購入できる生活利便施設が不足していると考えられ、区民の生活利便性向上のためこれらの機能整備が求められている。
- ・ただし、周辺商店街においては、再開発検討地区に生活利便施設ができることによる顧客の流失が懸念されており、地域としての機能の棲み分けや連携が必要となる。

#### 4. 意見交換会のまとめ

対象地域における住民との意見交換会からみられた町丁目別の地区の良い点、問題点の整理



対象周辺地域の状況

